

秋田市教育委員会
会 議 録

平成 2 8 年 7 月臨時会

秋田市教育委員会平成28年7月臨時会会議録

1 日 時 平成28年7月13日（水）
午後4時～午後4時30分

2 場 所 教育委員会室

3 出席委員 委員長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員

4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
総務課参事
学事課長
教職員室長
教育研究所長
生涯学習室長
総務課長補佐
総務課副参事
学校教育課長補佐
学事課補佐
学事課副参事
総務課主席主査
学校教育課主席主査
総務課主査
総務課主査

5 議 題

【協議事項】

- (1) 御所野学院の今後のあり方について

6 議 事 午後4時開会

【平成28年6月定例会会議録の承認】

平成28年6月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

委員長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【協議事項】

- (1) 御所野学院の今後のあり方について

学校教育課長補佐 (資料に基づき説明)

委員 学区外からの希望者も受け入れる特認校制度についてだが、市内の全学校の生徒が対象になるのか。

連携枠による募集は、定員の3割とするということだが、3割となった理由を教えてほしい。また、選抜時に参考とする資料の一つに調査書とあるが、調査書の中で重視する部分はあるのか。

学事課長 特認校制度は、文部科学省も認めている学校の選択制度の一つである。特色ある学習をおこなっている学校に対し、希望する市内全域の子どもを対象に入学させる。秋田市においては「自然いっぱいオープンすくうる」という制度があり、郊外の自然豊かな学校で学ぶことを希望する子どもは、対象となる小学校7校、中学校4校に通うことができる。同様に中高一貫教育を希望する市内

の全学校の生徒を対象とするものである。

学校教育課長補佐

連携枠を3割とする理由だが、表現科や郷土学、中高合同活動等、学院ならではの取組を実施する際には、いくつかのグループに分かれて活動する場合が多く、グループごとに意欲のあるリーダーがいるのが望ましい。その目安が3割だと思っている。全国の他の連携型中高一貫校でも連携枠は2割から3割が多い。また、3割を超えると御所野学院中学校が地元の中学校であることから、不平等感が生じるおそれがある。調査書の詳細については、今後検討するが、連携枠で進学するからには、御所野学院高等学校を第一志望とし、中高合同活動一貫教育プログラムに積極的に参加している、学習に意欲的であり、高校入学後も進路目標に向けて努力を重ねることができる等が条件になると思う。

委員

連携枠として入学者を選抜する際、一貫教育プログラムについては、調査書の中に表現科や郷土学等の項目を設けるのか、それとも志望理由書で確認するのか。一般選抜の調査書と求めるものは異なるのか。

学校教育課長補佐

連携枠の選抜の際は、一貫教育プログラムの活動について、どのような取組をしてきたのかが、記載される必要があると考えている。

委員

調査書の様式は、どのように定められているのか。

教育次長

通常は、県の教育委員会が示した様式となるが、御所野学院高校では、前期高校入試としてではなく単独で入試をおこなう。そのため、調査書等に一貫教育プログラムについての項目を設定することは可能である。

委員長

開校以来実施している表現科についてだが、どんな授業をしているのかが、伝わりにくいのではないだろうか。名称を子どもたちがもう少し具体的にイメージできたり、興味を持てる形にすれば、御所野学院で学びたいという子どもが増えるのではないだろうか。

教育次長 今後そういった点を十分に検討していく。

委員 御所野学院中学校以外の中学校から御所野学院高校を受験する際には、推薦入試はないようだが、連携枠があるからなのか理由を教えてほしい。

教育次長 各校の校長先生の推薦によって入学してもらうことと連携枠は異なる。連携枠は中高一貫教育をすすめてきた子どもだけを対象とし最大24人である。残りの定員である56人については、一般選抜で受験してほしいと検討した。

委員 御所野学院の特色は表現科や郷土学になる。御所野学院高校のあり方、魅力が前面に出るようであれば市内の中学校からの志望者が増えないのではないかと。

本日の午後、牛島小学校を訪問した。牛島小学校では、きらめきプランで年2回「わらび座」に子どもたちの指導をお願いしている。プロの指導は子どもたちへの影響力が大きく、良い経験だ。小学校や中学校でそういった経験をしてきた子どもたちが表現科や郷土学に対して具体的なイメージを持てるようにしていかななくてはならない。

今後3年間で表現科や郷土学の内容を充実させつつ、情報発信に努めてほしい。

委員長 例えば郷土学だが、カリキュラムでは少人数に対して先生が来て細かく丁寧な指導しており、地質学の授業や郷土の発掘等もおこなっている。また、バレエの授業では市内のバレエの先生が来て指導してくれている。今はそういった魅力的な面が見えない状況である。御所野学院の魅力が伝われば志願者は増えるのではないかと。

委員 美大の先生の美術的な表現やダンス的な指導等を表現科や郷土学という言葉ではイメージできないと思う。

教育次長 現在、小学校6年生を対象に御所野学院のパンフレットを配布し、表現科や郷土学を含めて授業がイメージで

きるように努めているが、今後併設型から連携型への移行に際し、内容等についてどう充実させていくかも十分に検討し、魅力ある学校を作っていきたい。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 次回定例会は前回6月定例会の際にお知らせしたとおり、7月28日(木)午後3時30分からの開催を予定している。

委員長 7月定例会は7月28日午後3時30分からとする。
皆さん、よろしくお願いします。

午後4時30分閉会

以 上